

議 事 録

<p>会議名 第7回第三次町田市地域福祉活動計画推進委員会</p>	<p>開催日時 自：14時00分 平成27年6月26日（金）至：15時17分</p>
<p>出席者 7名</p>	<p>小野敏明・高橋協子・島峯紀子・服部くに子・興野安雄・田中瑤子・矢島史稔</p>
<p>欠席者 4名</p>	<p>市川恵子・岩崎俊男・田部井眞・平林隆彦</p>
<p>会長・常務理事</p>	<p>佐々木のり・鏈溝慶一</p>
<p>事務局</p>	<p>廣田事務局長・井上地域福祉推進室長・小野主幹・永田主幹・藤田主幹・星統括主査・荒木統括主査・井藤主査・宮本主査・坂森主査・鴨下主査・小林主査・仲泊主査</p>
<p>配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第7回委員会次第 2 推進委員名簿 3 平成26、27年度基本計画まとめシート 4 平成26、27年度取り組みの視点別成果判断シート 5 平成26、27年度重点計画シート 	
<p>開 会</p>	<p>事務局は、定刻となったので開会を告げた。</p>
<p>常務理事挨拶</p>	<p>委員について、市福祉総務課の高階康輔委員が人事異動により4月1日付けで平林隆彦委員に変更したことを説明した。 併せて、市福祉総務課職員3名、社会福祉現場実習生2名の聴講があることを伝えた。</p>
<p>委員長挨拶</p>	<p>委員長は、社会福祉法改正が国会で審議され、可決の見通しであり、中でも、社会福祉法人が非課税団体であることにより余剰財産が問題視され、地域貢献活動が義務付けられたことについて、社協の基金についても例外ではないことを説明した。どのような地域貢献ができ、それに財産を充てるかについて、社協内や市とも協議が必要である。このことについて、青梅市社協や東社協の取り組みの説明をした。加えて、委員へ活動計画の進行管理の協力を依頼した。</p> <p>委員長は、平成26年度活動計画実施状況評価に入るため、報告を事務局に求めた。</p> <p>事務局は、2月27日に行われた第6回委員会での平成26年度の報告内容からの変更点について、各シートに下線で示しているこ</p>

議 事 録

	<p>とを説明し、実施状況を改めて報告した。</p> <p>委員長は、委員へ質問、意見を求めたが、特に声がなかったため、平成27年度活動計画実施目標の説明を事務局に求めた。</p> <p>事務局は、平成27年度の実施目標について、基本計画まとめシート、取り組みの視点別成果判断シート、重点計画シートを基に説明を行った。</p> <p>委員長は、委員へ質問、意見を求めた。</p>
副 委 員 長	<p>社協にしかできないニーズの高い公的制度外サービス提供の仕組みづくりについて、具体案はどのようなものか。</p>
事 務 局	<p>まだ担当職員間で自由に意見を出している段階ではあるが、電球交換等ちょっとしたボランティアの人材バンクを既存のネットワークにつなげて行えないか、せりがや会館の有効活用はできないかという意見が出ている。</p>
委 員	<p>高齢者世帯では、介護保険適用外サービスの要望が多くある。社協の取り組みに期待している。</p> <p>ボランティアについて質問だが、依頼と紹介はどの程度できているのか。</p>
事 務 局	<p>平成26年度は、310件の依頼があり、354件の紹介を行っている。ボランティア登録は個人201人、団体は173団体の実績となった。今後も地域の様々な取り組みと組み合わせて行っていきたい。</p>
委 員	<p>市民がよく知らないと思うので、周知に注力してほしい。ちょっとしたことから関われるような取り組みがあるとよい。</p>
事 務 局	<p>認知度については、広報・ホームページには取り組んでいるが、周知する対象は一般市民なのか、福祉専門職なのかを再度意識して行っていきたい。</p>
委 員	<p>ふれあいサロンは周知の場所として効果的と思う。</p>
委 員	<p>住民主体の福祉活動をどのように作るかが社協の大きな課題であると思う。</p>
委 員 長	<p>住民主体の活動をどのように作り上げていくかは、介護保険法改</p>

議 事 録

委員	<p>正により、大きく注目されている。社協としても、これを踏まえた取り組みが必要である。</p>
事務局	<p>ふれあいサロンの活動を辞める理由はどのようなものか。</p>
	<p>多くはサロン代表者の方が活動を継続できなくなるというものだが、子育てサロンの場合は、子どもが大きくなり、サロンとしての役割を終えたというものもある。</p>
	<p>委員長は、他に声がなかったため、社協組織の基盤強化についての報告を事務局に求めた。</p>
	<p>事務局は、職員の育成についてコミュニティソーシャルワーカー研修の実施状況、財源確保について会員募集を町内会自治会等へ引き続き協力を依頼していくことを説明した。</p>
	<p>これ以上委員からの意見はなく、本日の検討事項はすべて終了したため、委員長は、その他の事項について事務局に報告を求めた。</p>
	<p>事務局は、次回の日程について、2月下旬とし、具体的な日程は、改めて通知することを報告した。</p>
	<p>加えて、委員長が冒頭の挨拶で述べた社会福祉法人の地域貢献事業について、直近の都内社協事務局長会において各社協内でモデル事業の促進が取り上げられ、既に6つの社協が実施に向け動いていることや、町田としては既に高齢・障がい・児童の各分野でネットワークができているため、それらとの連携が課題となっていることを説明した。</p>
	<p>以上ですべての内容が終了したため、会長は、本日の審議協力に礼を述べ閉会とした。</p>